

高橋賢一 piano  
西嶋徹 contrabass  
矢城純平 drums

2025 03月12日 (水)

開場 19:30

開演 20:00

(2ステージ入替無)(1drink=600)

MC=3700+2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、  
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を  
ご記載下さい。



## 西嶋徹

1973年東京生まれ。5才よりヴァイオリン、高校よりエレキベースを始め、大学卒業後にコントラバスを始める。ジャズやアルゼンチンタンゴを軸に幅広い分野で活動。現在、Cuatrocientos、三枝伸太郎 Orquesta de la Esperanza、鬼怒無月 Quinteto、吉田篤貴 EMOstrings、などのグループに参加。これまでに、葉加瀬太郎、綾戸智恵、小野リサ、小松亮太、Jazztronik、Pablo Ziegler 等多くのアーティストのコンサートやレコーディングに参加。2014年にピアニスト林正樹との2枚目となるDUOアルバム『El retratador』をリリース。2018年、ソロアルバム『Phenomenology』をリリース。2021年、ギター藤本一馬、ピアノ栗林すみれ、ドラム福盛進也とのグループ Remboato にてアルバム『星を漕ぐもの』リリース。2024年、自己のリーダープロジェクトとして蒼波花音 (sax)、遠藤ふみ (pf)、と共にアルバム『幽けき刻』をリリース。

## 高橋賢一

京都市出身、東京都在住。即興演奏家 ジャズピアニスト フジロック 2023 出演静かに広がる波紋のような繊細さと、スリリングで鮮烈な世界を併せ持つ。自然や空間のゆらぎと一体化し”音を授かるような感覚”を基にしたその自然発生的な演奏は、流れ、広がり、変容し、瞬間的な煌めきと美しさを創り出す。2020年に1stアルバム『In My Minds Eye』を高橋賢一トリオでリリース。2021年には2ndアルバム『spontaneous』を全編即興演奏ソロピアノでリリース。2022年には元 jizue のドラマー粉川心の呼びかけにより、岡田康孝、高橋賢一らと同世代の即興音楽家三人で京都 experimental piano trio [kott] を結成。sara とのクリスタルボウル、ヴォイス、ピアノ即興演奏で紡がれる Eudaemonia の 1st アルバム『an open book』をリリース。2023年6月に1st ALBUM [kott] をリリース。2024年、京都から東京に拠点を移し、ベース西嶋徹、ドラム矢城純平とのトリオを結成。このトリオでのアルバムレコーディングと全国ツアーを控えている。  
【レコーディング参加、ライブ共演】  
KAY YOUNG、Stafford Hunter、Marty Bracey、Luciano Ghosn、類家心平、福盛進也、纈纈雅代、廣瀬誠、清水勇博、浅井良将、甲斐正樹、林仁、功刀丈弘。その他多数の国内外の様々なジャンルのアーティストと共演。年間約300本以上のライブやレコーディングに参加。

## 矢城純平

茨城県出身、1995年生まれ。10代で独学でドラムを始め、ロックバンドやハードコアバンドのサポートドラマーとしての活動を経て、現在ジャズアンサンブルを軸に活動。自身の表現活動として、作曲・演奏企画をセルフプロデュース。2022年11月、茨城県石岡市ギター文化館にて自主企画「still life」を行う。過ぎ去っていくもの、消えていくもの、残したいもの、残っていくものをコンセプトにフリーインプロを交えながら構成。自身の楽曲を中心としたプログラムを石渡雅裕氏、中山真司氏とともにピアノトリオの編成で演奏。現在はソロドラム、デュオでの即興演奏企画など、より即興の可能性と音楽の形を見つめ直す活動を進めている。作曲を学びつつ、音楽と芸術との深い関わりを望む。